

令和4年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号

63

I 自己評価

1	学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2	評価する領域・分野	進路指導		
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「進路情報の提供」「適切な指導」に関するアンケート結果は、生徒および保護者・評議員共に概ね90%が「あてはまる」と回答している。		
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。		
5	重点目標を達成するための校内組織体制	教務、各学年、各教科、商業専門部、工業専門部		
6	目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	(1) 発展的なキャリア教育の推進 (2) 地域に貢献できる人材の育成 (3) 基礎学力と専門力等の向上	(1) 将来に対する目的意識を持ち、主体的に取り組む (2) 望ましい勤労観・職業観の形成と地域産業の理解 (3) 基礎学力の向上および専門性を生かした進路実現		
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
	(1) 学習活動全体を通してキャリア教育を展開 (2) 地元企業採用担当者との就職相談会の実施 (3) 外部テスト、小論文、面接、プレゼンの指導	(1) 指導内容の連携と充実 (2) 地域産業の理解と人材の輩出 (3) 学習活動を活かした進路実現	A (B) C D (A) B C D A (B) C D	
11	成果・課題	○3年生の就職希望者を対象に実施した地元企業採用担当者との就職相談会や各学年で実施した進学相談会などの進路行事を通して進路選択に向けた情報発信を行うことができた。 ○就職希望者のおよそ41%が関市内の企業に内定し就業を予定している。また、多くの生徒が商業や工業の専攻する学科やコースの専門性に関連する業種の企業への就職を決めている。 ●進路先を決定していく過程において、自己の考えを明確にできないまま時間が経過し受験先の決定が長期化する生徒の対応として、これまで以上に生徒個々に応じた指導が必要である。		総合評価 A (B) C D
12	来年度に向けての改善方策案	・学校見学やオープンキャンパス、企業見学や企業紹介動画などを効果的に活用して、1年次から学科の特性を生かした体系的なキャリア教育を展開し、生徒自身が早期に多くの情報を入手することで、より深く将来の進路を考えられるように努める。また、様々な進路活動の振り返りにおいては、生徒個々に対して、よりきめ細かい指導を行い進路実現に向けて自ら行動できるよう導く。		

II 学校関係者評価

実施年月日 令和5年1月30日

【意見・要望・評価等】

・今年度県内就職率が高いことは大変嬉しいことである。また、専門高校から多くの生徒が大学進学をするなど幅広い進路が実現されている。今後も本校の特色を生かした進路指導を展開してほしい。